

## 新年のご挨拶を申し上げます

いつも昨年の賀状のご挨拶と一年を振り返りながら、辛口ながらも、なるべく明るい希望も盛り込んだ新年のご挨拶をしたためるよう心がけてはいますが、果たしてうまく締めくくれるのかどうか？昨年の賀状で危惧していた、オリンピックも何とか大事に至らずに済み、ワクチンも期待通りに進みました。医療の仕組みもかろうじて瓦解まで至らずに済みました。今回のパンデミックは自然（もしかして不自然？）の脅威ですが、人類の過剰な発展によるグローバル化が弱点になりました。もちろん人類の発展は悪いことばかりではなく、短期間で開発できたワクチンなどは科学の発展のお陰でもあります。この100年の科学や経済などの進展開発は凄まじく、流星に世界の賢者たちは薄々その危うさに気付き始めて「SDGs」なる考え方を広めようとし始めています。しかし、文明の利器や富にいったん浸り切ってしまうとなかなか戻れません。ここをどのように乗り切っていくのか恐る恐る想像するしかありません。「健康と幸せを医学する」ことで貢献を願う私にとって、身近な次世代の人たちに、小規模ながらもコツコツと「幸せは自己完結しない」「周囲を巻き込んでこそ幸せはある」という親から学んだ小粒ながらも宝の教えを伝承しながら、今後の破天荒半隠遁生活をワクワクしながら過ごしたいと考えております。ご賛同の方、ぜひお付き合いください。



令和4年 元旦

寺下 謙三

色えんぴつ画「紅葉・コロナ・ゴルフ」